

CELULAS



NPO法人 多言語広場セルラス
世界に通じる人材の育成をめざして

2019

Vol. 12

CONTENTS

P.2~3 メンバーの声

多言語の世界で見つけた、
“本当”のコミュニケーション

P.4~5 リートレ生(中高生)に響いた、 理事長の「ことば」

P.6 セルラスが出会った留学生 ～マタルさん (UAE) ～

P.7 プロジェクトスタッフだより ～広報プロジェクトチーム紹介～

P.8 サマーキャンプへ行こう！ INFORMATION



多言語の世界で見つけた “本当”のコミュニケーション

赤星佐和子さん 小学校教師

元・海老名水曜ピアザ 現・長崎県在住/一般会員

家族構成：夫・長男(小3)・長女(小1)・次男(年中)・三男(2歳)

私は2018年10月27日～11月4日まで単身メキシコにホームステイに行ってきました。

私には4人の幼い子供がいて、彼らを預けて1人で出かけることに申し訳なさもありましたが、メキシコホームステイの話聞いた時、自然と「行ってみたい!」と思ったことや、「もし行くなう今しかない!」という家庭の事情、そして最終的に夫と母が協力して子供たちを見てくれるというありがたい後ろ盾のおかげで、妻でもない、母でもない、「1人の人間として」メキシコへのホームステイに旅立つことができました。



【1. 心の変化を感じて】

入会して1年ちょっとの私がこのようなチャレンジをすることに対して、「元々こういうタイプの人なのね」と思われる方もいるかもしれませんが、以前の私は外国語に対してコンプレックスがあり、外国の人がいたら目を背けるような人間でした。でも、セルラスに参加するようになってから、出かけた先で日本語以外のことが聞こえると、「なんとやっているのかな～」と耳を傾けるようになりました。

ことばの量が急激に増えたというわけではないですが、外国語に対する以前のような感覚が小さくなってきていて、人に対して心が開いてきている、という自分の心の変化を感じていました。



【2. 行ってはみたものの…】

しかし、いざ現地に行ってみると、スペイン語はあいさつ程度、英語も…?の私は、案の定ホストの言っていることがさっぱり分からず、スマホ通訳を使ってコミュニケーションをとっていました。そして私は「こんなことばの量じゃ、やっぱりダメなんだ～」と少し落ち込んでしまったのです。

今回のメキシコ交流はホームステイだけでなく、現地の学校を訪問して子供たちと国際交流をする、ということも目的の1つでした。クエルナバカというところにある

『Colegio Mundo Feliz(コレヒオ・ムンド・フェリス)』という幼稚園が併設された私立の小学校です。



一緒に行ったセルラスメンバーは1人1人ステイ先が違います。しかし子供たちと国際交流をするために毎日学校に来ているので、そこで会うことができました。家族とスマホ通訳を使ってしか話ができず、ちょっと落ち込んでいた私は、学校で子供たちと交流するセルラスメンバーを見て愕然としました。何故なら、みんな自分が持っていることばと、ありとあらゆる方法を使って、一生懸命コミュニケーションをとっていたからです。それを見て、人と繋がるための「コミュニケーション」を機械に頼っていた自分に対して、これではダメだと感じました。

【3. 行動を変えた先に見えたもの】

そこで私は、学校の休み時間に、半紙に筆ペンでいろいろな日本語を書いて子供たちに渡すことをしてみました。最初は、その子の名前の音を聞いて、それに合う音の漢字で名前を書いてあげようと思っていたのですが、なかなかうまくいかず、時間がかかってしまいました。

「このままでは子供たち全員に書いてあげられない!」と思った私は、日本語で「愛」「学校」など、思い浮かぶ漢字を書き、英語をその横に書いて、スペイン語では何と聞くのか聞いたりしました。私の周りには、日本人の私に興味津々で、私が書くこと、話すことを一生懸命見て聞いてくれる子供たちがいました。

みんな目をキラキラさせて、とてもかわいらしい子供たちでした。

漢字で「平和」と書いて、横に「peace」と英語で書いた後に「スペイン語では?」と聞いてくる子供たち。会って間もない彼らに対して、「この子供たちの周りも、どうか平和であってほしい」と心から思う自分がいました。



【4. コミュニケーションの感覚！？】

そしてこの経験から、私は家族とのコミュニケーションも「何をしたらいいのだろう?」と考え、機械を通してではなく、自分のことばで、そして、ありとあらゆる方法を使って話してみようと思いました。まずは私のホストである7歳のDiegoに、「出英悟」と名前を書いてあげました。「出英悟」という意味は、賢くて広い世界へ出ていく男の人だと説明しました。(この時はちょっと翻訳機を使いました…。)

そして持っていったおみやげの説明をしたり、作っていったアルバムを見せて話したり、一緒に食事を作ってふるまったり…と、できる限り同じものを食べ、同じ時間を過ごしました。するといつの間にか、家族の空間に緊張することなく一員として座っている自分がいて、ホストの言うことばが分かってきていることに気がきました。ほとんどが「Si」「No」という簡単なやり取りだけなので、会話としては不十分であったかもしれませんが“返事が出来ている! コミュニケーションが取れている!”という感覚がでてきたのです。

【5. 共通のイメージから始まることば】

そのうち、「自分の聞き取れた音やイメージを伝え、返すことが大切なんだ!」と思い、聞こえた音をとにかく赤ちゃんのように繰り返してみました。なぜなら、どんなに相手が話しかけてくれても、「分からない…。」という顔をして私があきらめた途端、相手が話をしなくなってしまうことが多いと気づいたからです。すると、少しずつ絡み合った糸がほどけるようにことばが伝わってくるようになってきました。

そしてお別れ前の最後の食事の時、ママとパパが何を質問してきたのか、やり取りを繰り返すうちにはっきりと分かったのです。理解できるまでに時間がかかったので、パパは途中スマホを出そうとしましたが、「No」と断り、最後まであきらめずに話を聞き、最終的に理解できたことは自分にとって大きな1歩でした。

一緒にいる時間が長くなればなるほど、共有する経験が増え、ことばの共通イメージができるので、大の大人が本当に赤ちゃんのようにコミュニケーションをとる体験ができました。おかげで今は言語が違う人たちと向き合うことに対して、以前のように「ことばができない」という理由で壁を作ることはなくなりました。



【6. 私の生きる道標 (みちしるべ)】

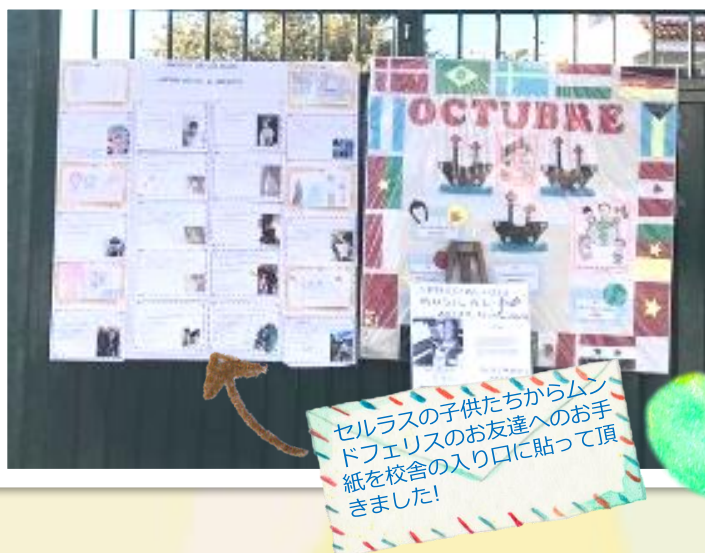
私はメキシコの子供たちや家族との交流、そしてセルラスの活動を通して、「これから生きていく道標(みちしるべ)」を見つけた気がしています。「多言語を学んでいろんな言語を話せる人はそうでない人より優秀だ」と多くの人はそう思い、話せる人は優越感のようなものを持つのかも知れません。

しかし私は「多言語を学ぶ」ということは、全くそういうことではない、と感じています。

私はセルラスに関わり、多言語の世界に触れ、さらにホームステイに参加したことで、どんな国の方とも心で交流し、分かり合いたいと思うようになりました。

そして、自分の中で世界の平和を強く望む気持ちが大きく膨らんで、溢れるほどになっています。

そして自分が今後より多くの人と心で交流し、理解し合い、繋がることで、微力ながらそのような世の中になるための一端を担っていけるような気がしているのです。



リートレ生 (中高生) たちに響いた



理事長の『ことば』

今年は3/28-30の2泊3日、静岡県三ケ日で開催された、恒例のリーダーズトレーニングキャンプ。ロールプレイ※1やMULCOタイム※2、多言語プレゼン※3など、徹底した多言語活動の中で、リートレ生（中高生）たちは、自分で様々なことに気づいていきました。特に今回のキャンプでは、理事長の熱いことばが、実際の彼らの体験といろいろな瞬間に結びついていったようです。これからますますリートレ生の活躍が期待できそうです。大人たちも負けてはいられませんね!!



失敗は成功への階段!

理事長のこのことばを聞いていたのが、頭に残っていたからか、発表の時いつもより早めに手を挙げて話すことができたのが、すごくよかった。話を聞いてくれるみんなの目が温かくて安心できた。 中2 今村夏帆



リートレの最後に聞いた理事長の話で、失敗は成功の階段というのを聞いて、自分の体験もありすごく共感した。失敗するのはいやだ、恥ずかしい、と思うことが多かったけど、成功するかどうかじゃなくて、チャレンジしてやり切ることが大切なんだと思った。

中1 吉田菊莉



私は今回のキャンプでは、多言語プレゼンをやりませんでした。「できない」と決めつけていました。失敗するのが怖かったからです。でも話を聞いて、これからは失敗してもいいからチャレンジしよう! と思いました。これからのピアザやサマーキャンプでリベンジしようと思っています。

中1 中村蒼



理事長の話を聞いて、初めて言語獲得装置のことを知った、そしてわかった。あー、だから、自分の言葉になるんだと、思った。

小6 飛び級 加藤駆



借り物のことばではなく 自分のことばで!

1日目のグループタイムで、理事長が「多言語ロールプレイをやっている時、役になりきっているふりをして、多言語を役のセリフとして言っている人が多い! 多言語を自分のことばとして言ってほしい」と話されていた。そこでボクはそれを意識して、2日目、3日目と気持ちを入れてロールプレイをやってみたら、どんどん楽しくなっていた。

そしてみんなで「電話がどこにあって」とか、「お父さんはお酒を飲んで酔っていて」とか、「お母さんはVRやってて手がはなせなくて」とか設定を細かく決めたら、イメージをみんなで共有できて、役にのめりこめて、「ロールプレイってこんなに楽しいんだ! 面白くするためには情景の設定がすごく大切なんだ!」ということがわかり、そのことも多言語が自分のことばとして口に出せるきっかけになったと思った。

中2 古橋真人



多言語プレゼン



※1 ロールプレイ…セルラスのオリジナルストーリーを役柄に分かれて仲間と一緒に、イメージを膨らませて多言語で表現すること



ことばで自分を決めるな!

理事長のこのことばを聞いて、ぼくは、年上だから遠慮するとか、自分にはリーダーは無理だとか、そういう気持ちを一度とっばらって、もう一度自分について考えてみようと思いました。

高1 福岡太一良



私は今まで、「自分は人見知りだから静かにしていよう」とか、「年下だからひかえておこう」など、気づかないうちに自分を自分で決めつけていました。でも理事長の話を聞いて、考え方が1秒で変化しました!

こんな体験初めてでした。中1 福元慧燕



準備ハ割! あとは全力で楽しむ

ぼくは今年は、ワンマンロールプレイやプレゼンをかなり力を入れて取り組みました。準備会やピアザで繰り返しやって、みんなからアドバイスをもらったり、どうすればもっと伝わりやすくなるかを考えたり、シャドウイングの時も、広い範囲を使ってやってみるなどの工夫をしました。ワンマンやプレゼンは、準備不足だと「やりたくない。早く終わってほしい。」という考えが浮かぶけど、ちゃんと準備していると「早くやりたい! みんなを驚かせたい!」という考えが浮かんできて、うんと楽しくなります。

中2 菊池祐輝



最終準備会の様子(関東)



セルラスは ことばを教えな!!

最初に理事長の「セルラスはことばを教えない」という話を聞いて、正直「何言ってるんだろ…ピアザとかでロールプレイやってるし、外国語がっつり教えてるじゃん。」と思った。でも、よく考えてみたら、実際は完ぺきに覚えなさいとか言われているわけじゃないし、シャドウイングもひとつひとつの単語を言えるようにならなきゃいけないわけではなく、同じピアザの人たちと、新しいことばを、そのまま口に出して、自分でいろいろ見つけ、気づきながら、それをみんなで共有しているという事に気がついた。ピアザやセルラスって、やっぱりすごく大切なものなんだと改めて感じた。

中2 名倉茉那



MULCO(マルコ)タイム

※2 MULCO(マルコ)

…Multilingual Communication = 多言語コミュニケーションの略。自分の中にあることばと、ありとあらゆる方法を使って、相手と向き合い話をする活動

理事長が、プレゼンは誰かに文章を作ってもらい、それを覚えることじゃないとおっしゃった時、まさに私のことだなと思った。

だからサマーキャンプでは、教えてもらったものではない、心に残る多言語プレゼンにしたいと思いました。

中2 長富日向



※3 多言語プレゼン

…自分の伝えたい事を多言語で表現するプレゼンテーション

セルラスの出会った留学生

「私にとってのセルラスの活動」



マタル アハメド ビン ヤレヤル
UAE(アラブ首長国連邦)出身
東京理科大学 2年生 (21歳)

UAEのドバイから来たマタルです。日本に興味を持ったのは、小さいころ好きだったゲームやお菓子が、全部日本製だとわかった時からです。日本のテレビのバラエティ番組「ガキの使い」も大好きでした。高校を卒業する半年前から独学で日本語の勉強を始め、1000の漢字を覚えました。親を説得して、2016年9月に高校を卒業したあと、10月に日本に来て、日本語学校で1年半勉強し、2018年4月に大学に入りました。毎週セルラスのピアザに参加しています。今回はぼくとセルラスの関わりについて書こうと思います。

【セルラスを知ったきっかけ】

きっかけは、2017年の10月、ワンデイトリップというセルラスのイベントに参加したことです。本当は5月に参加したかったのだけど、満員で参加できず半年待ちました。ワンデイトリップは、日本人の家族とペアになって、1日どこかへいっしょに遊びに行くというイベントです。日本語学校で毎日日本語を勉強していたけど、先生以外の日本人と話す機会は全然なかったので、このイベントはとても人気がありました。半年待ったので、その日は朝からとても楽しみでした。

【和田家族との出会い】

ぼくのパートナー家族は、和田さんで、お母さんと小4のぶんちゃんでした。他のペアもいっしょに12人くらいでお台場の防災館に遊びに行きました。この日初めて日本人の子供と話したのですが、最初は何を言ってるかわからずとまどいました。でも本当に楽しくて、翌年のセルラス新年会に誘われてからは、ピアザに通うようになりました。



【中高生のリーダーズトレーニングキャンプに参加】

2018年3月末、2泊3日のリーダーズトレーニングキャンプに、留学生リーダーとして参加しました。すごく印象的だったことは、参加していた中学生や高校生が皆、ディスカッションでめっちゃくちゃしゃべっていたことです。ディスカッションのテーマは「ピアザの改善点について」などでしたが、年下の彼らがこんなにマジメに考えている姿に感銘を受けました。

そして今年3月末にもこのキャンプに参加しました。今回のリートレですが、一年間ずっと様々な話に耳を傾けたり、セルラスの流れや計画を観察してきた結果、ディスカッションの時に、それを踏まえてリートレ生達やコーディネーターさん達と話し合い、さらに留学生タイムの時に「私が思う権限なきリーダーシップ」を中心に話し、リートレ生が色々学んだらしく、達成感を味わい、身に余る嬉しさを感じました。



【小学校の国際理解教室に参加】

またセルラスから依頼を受けて、今年の2月に杉並区の公立小学校の6年生2クラスを対象にした国際理解授業にも行ってきました。台湾の留学生といっしょに授業を担当し、ぼくは、映像を使いクイズも作って楽しいUAEの紹介を20分くらいしたあと、UAEの民族衣装を着せてあげたり、UAEの小学校で人気のゲームなどを子供たちに教えました。子供たちはすごく元気でたくさん質問してくれて本当にいい時間でした。日本に来てからセルラスのおかげで、自分の国を紹介する機会を何度も持って、UAEについて自分もいろいろ調べて知ることができたことも、とても良かったと思っています。

ぼくの将来の夢は具体的ではないですが、世界の平和に貢献する活動を、はば広く行っていきたいと考えています。今セルラスに参加していることが、その夢に少しつながっているような気がします。



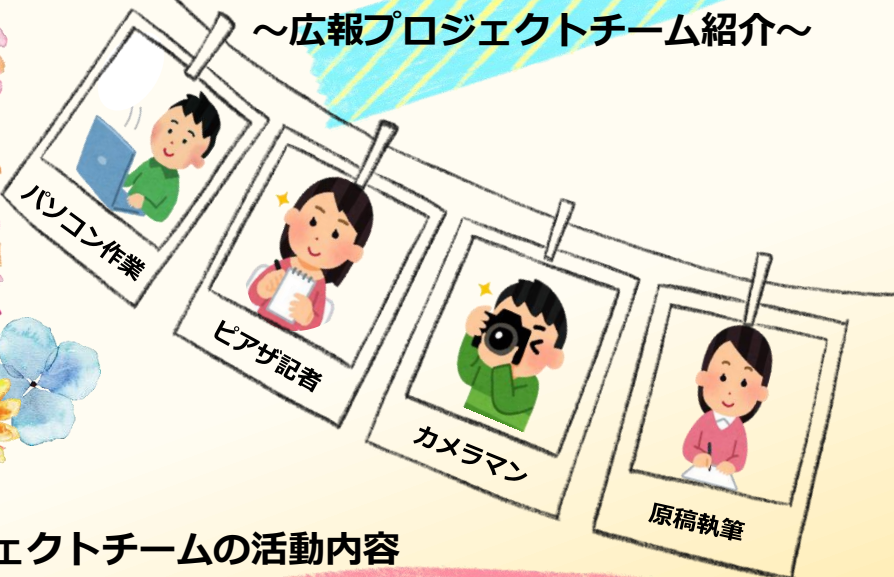
【アラビア語】

今年に入ってから、大人だけでなく、子供もアラビア語に興味を持つようになったので、楽しくアラビア語を教えようと思ったのですが、日本人から見るとアラビア語は言葉の多さや難しい発音など難関が多い言語なので、うまくいかないのではないかと心配しました。そこで、私は語呂合わせで数字を教えたり、アラビア語でジャンケンポンをやったりし、その結果、セルラスの皆さんがアラビア語を以前より近くに感じるようになったようです。これからも皆さんが私の母語を楽しむように頑張ります。

昨年より、プロジェクトスタッフ制度が始まりました。セルラスの活動の大小さまざまなプロジェクトに、作り手となって関わるボランティアスタッフで、沢山のメンバーの活躍で、昨年のプロジェクトは円滑に、そしてますます充実したものとなりました！今年も各種プログラムに名乗りを挙げ、活躍するメンバーが沢山います！今回は、広報プロジェクトチームの活動内容及び、プロジェクトスタッフについてご紹介します。興味を持たれた方は、是非ご参加下さい♪ 随時募集中です。

プロジェクトスタッフだより

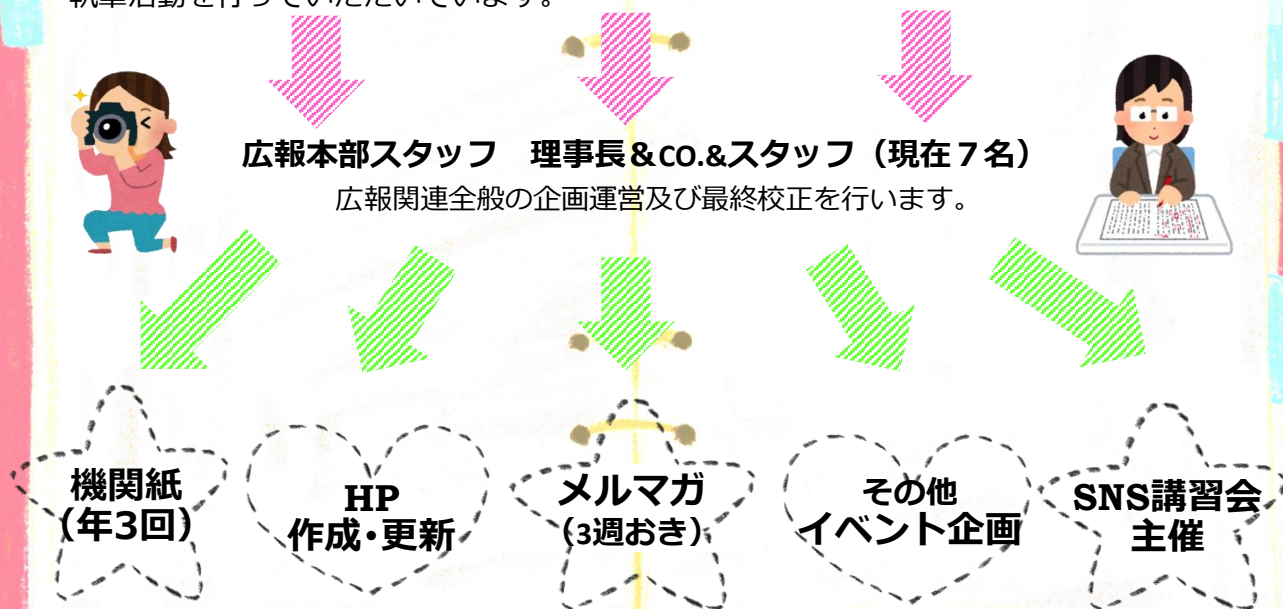
～広報プロジェクトチーム紹介～



広報プロジェクトチームの活動内容

広報プロジェクトスタッフ&ピアザ記者

プロジェクトスタッフは現在関東・関西合わせて3名のメンバーが在籍。主にSNS関連のプロジェクトの進行や、機関紙制作のレイアウトのお手伝いをお願いしています。ピアザ記者は各ピアザより1～2名募集し、現在25名の記者が在籍中です。自身のピアザ、または近隣ピアザの様子や、トピックスに沿って、メルマガ、HP、機関紙等への原稿執筆活動を行っていただいています。



日頃の活動で感じていることや、見つけた事も記事にしています。原稿はきちんとした文章でなくても、メモ書きでも大丈夫なので、気軽に投稿しています。

関東・関西のスタッフみんなでZOOMミーティングをすることも！交流の輪が広がります！

ピアザ記者は、メンバーの色々な姿を追っていきます！記事にしたいと思った時は声掛けをさせていただきますので、皆さん、ご協力お願いします！

サマーキャンプへ行こう!!

違いは大切な宝物

CELULAS
青少年SUMMER CAMP 2019

日時：2019.8.18(日)～8.21(水)
場所：静岡市南アルプスユネスコエコパーク
井川自然の家
対象：セルラス正会員(小3～高3)

今年は12人のJr.リーダーと様々な国の留学生とSUMMER CAMPに行くよ!!
国・ことば・文化の違いを超えて、人に向き合い、多言語活動をより深く体験できる絶好のチャンスだよ!! CAMPに参加して、「ことば」を楽しむことで、自分の世界をもっともっと広げよう!!

みんなで楽しいサマーキャンプにしようね!
まってるよ～♪ Jr.リーダー 和田たま子(高2)



INFORMATION

セルラスの夏はここから始まるよ!!

＜ホリデースーパーピアザ＞

関東 2019.7.7(日)
関西 2019.7.21(日)

＜夏の報告会＞

関東 2019.9.1(日)
関西 2019.9.8(日)

みんなで夏の体験を共有しよう!

※いずれも、参加には事前にお申し込みが必要です。
お申し込みは下記本部事務局までお問合せ下さい。

セルラスでは、全国各地で様々なイベントを開催中です。
詳しくはセルラス ホームページをご覧ください!
メルマガも随時配信中!



セルラス

検索

発行元

ピアザ セルラス

NPO法人 多言語広場CELULAS

本部事務局

〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-23-1 ニュースビル1355

TEL: 03-5333-8202 (代表) FAX: 03-5333-8203

関西事務局

〒553-0007

大阪府大阪市福島区大開1-10-10

TEL&FAX: 06-7493-7931 (代表)

URL: <http://www.celulas.or.jp>

e-mail: info@celulas.or.jp

= 編集後記 =

機関紙12号はいかがでしたか? 創刊号を2015年6月に発行してから、早いもので4年が経ちました。
たまたま先日、創刊号に目を通す機会があったのですが、この4年で活動内容が随分進化したと感じました。ついでに、私達の編集の拙さも目に付きましたが…笑。
(皆さんもお時間あればHPのバックナンバーをご覧ください!)

その中で変わらないものも見つけました。子供たちの成長、そして大人たちのチャレンジです。

活動が変化しても、子供たちはその時に見つけた事、感じた事をしっかりと自分の行動にうつし、成長を遂げていきました。その頼もしい姿に感化された大人たちも、負けずにチャレンジの気持ちを持って活動する姿は、今も健在です。

私達の活動は、メンバーみんなの知恵と行動力で日々変化しています。プロジェクトスタッフ制度は、セルラスに新しい風をもたらし、今年の韓国青少年ホームステイ交流や、青少年サマーキャンプは令和元年にふさわしい、新鮮なプログラムとして生まれ変わっています!

勇気を持って行動し、変化し続ける事。
変わらず、チャレンジ精神を持ち、成長し続ける事。

この2つを念頭に、広報チームはプロジェクトスタッフ一丸となって、令和のセルラスを見つめ、最新情報をこれからもお届けしたいと思います。

私個人としては、ホリデーピアザでの多言語プレゼンにチャレンジ!
大人だって頑張るぞっ!!

